

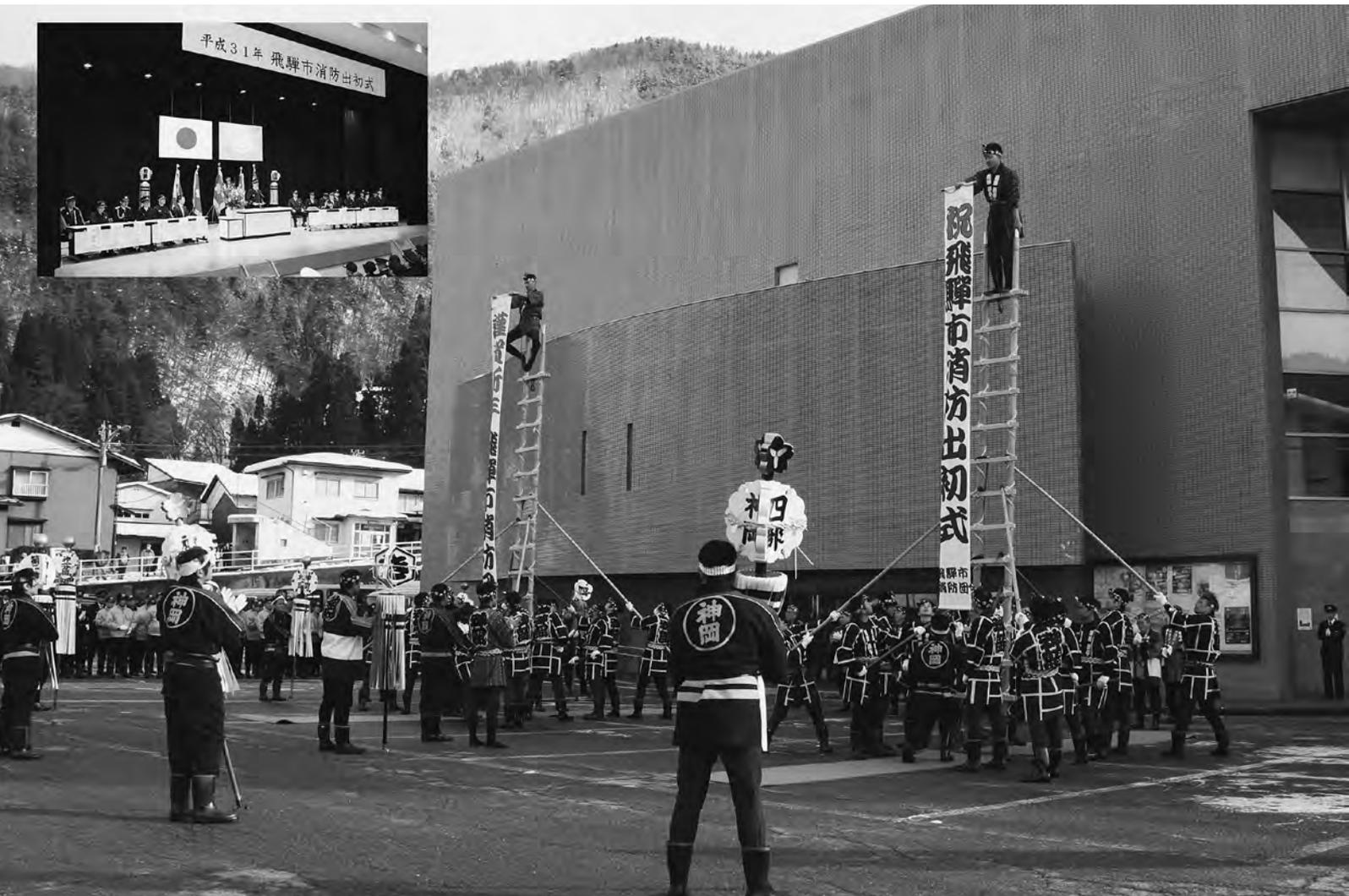
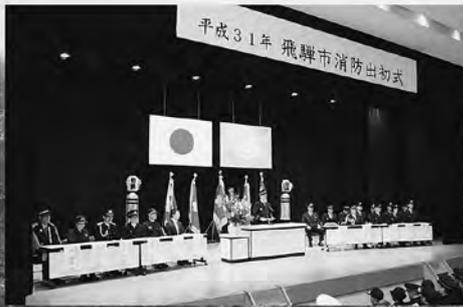


飛驒市

No.60

平成31年2月1日発行

議会だより



安全・安心な市民生活を願って

1月6日 神岡消防出初式

12月定例会の概要	2~3
一般質問	4~8
連合審査会	8
委員会 Q&A	9~10
市民との意見交換会	11
管外視察の概要	12~13
高校生との交流会、3月定例会の予定、 編集後記	14

■発行/飛驒市議会 ■編集/広報広聴特別委員会

〒509-4292 岐阜県飛驒市古川町本町 2-22 TEL (0577) 73-7467 FAX (0577) 73-0080 ■ホームページ <http://www.city.hida.gifu.jp>

12月定例会の概要

11月28日から12月13日までの16日間、平成30年第5回飛騨市議会定例会を開催しました。補正予算や、条例の改正、財産処分・財産取得、指定管理者の指定など37議案を可決しました。また一般質問について、9人が登壇し市政を質しました。

上程議案と審議結果

● 全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	審議結果
飛騨市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決 (全会一致)
飛騨市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
飛騨市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	
飛騨市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
飛騨市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	
人事院勧告に基づき改正するもの	
飛騨市保育所条例の一部を改正する条例について	
市立増島保育園及びさくら保育園を民営化するため廃止するもの。	
財産の無償譲渡について（飛騨市立増島保育園）	
財産の無償譲渡について（飛騨市立さくら保育園）	
社会福祉法人へ財産を無償譲渡するもの。	
飛騨市障害者自立支援施設条例を廃止する条例について	
飛騨市障害者自立支援施設憩いの家を民営化するため廃止するもの。	
財産の無償譲渡について（飛騨市障害者自立支援施設憩いの家）	
社会福祉法人へ財産を無償譲渡するもの。	
指定管理者の指定について（ひだ宇宙科学館カミオカラボ）	
特定非営利活動法人宇宙まるごと創生塾飛騨アカデミーへ指定するもの。	
指定管理者の指定について（飛騨市黒内屋内運動場）	
株式会社飛騨ゆいへ指定するもの。	
指定管理者の指定について（飛騨市サン・スポーツランドふるかわ及び飛騨市古川町森林公園）	
特定非営利活動法人はたらくねっとへ指定するもの。	
指定管理者の指定について（飛騨市古川トレーニングセンター）	
ひだチャレンジクラブへ指定するもの。	
財産の取得の変更について（繁殖牛舎）	
財産の処分の変更について（繁殖牛舎）	
財産の取得金額及び処分金額の変更をするもの。	
財産の取得の変更について（繁殖牛舎、堆肥舎）	
財産の処分の変更について（繁殖牛舎、堆肥舎）	
財産の取得金額及び処分金額の変更をするもの。	
飛騨市地域産業振興施設条例の一部を改正する条例について	
香愛ローズガーデンの無料化、神岡町農産物直売施設を産業振興施設に位置づけるもの。	

12月定例会の概要

議案名	審議結果
指定管理者の指定について（飛騨河合飛騨牛繁殖センター） 農事組合法人飛騨かわい牧場へ指定するもの。	可決 (全会一致)
指定管理者の指定について（森茂牧場） 飛騨市和牛改良組合へ指定するもの。	
指定管理者の指定について（神岡町農産物直売施設） 神岡朝市クラブへ指定するもの。	
指定管理者の指定について（古川町農産物直売施設） 飛騨古川三寺めぐり朝市へ指定するもの。	
指定管理者の指定について（飛騨市火葬場） 株式会社神和へ指定するもの。	
指定管理者の指定について（地域交流センター船津座） HIP 有限会社へ指定するもの。	
指定管理者の指定について（飛騨市星の駅宙ドーム・神岡） 協同組合スカイドーム・神岡へ指定するもの。	
指定管理者の指定について（飛騨古川まつり会館） 株式会社飛騨ゆいへ指定するもの。	
飛騨市都市公園条例の一部を改正する条例について 気多公園の面積増の変更に伴い改正するもの。	
平成30年度飛騨市一般会計補正予算（補正第4号）	
平成30年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算（補正第2号）	
平成30年度飛騨市介護保険特別会計補正予算（補正第2号）	
平成30年度飛騨市公共下水道事業特別会計補正予算（補正第1号）	
平成30年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（補正第1号）	
平成30年度飛騨市農村下水道事業特別会計補正予算（補正第1号）	
平成30年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計補正予算（補正第1号）	
平成30年度飛騨市水道事業会計補正予算（補正第3号）	
各種事務事業の見直しによる補正。	

● 賛否が分かれた議案【市長提出議案】

※ ○は賛成、×は反対、欠は欠席

議案名等	議員名													審議結果
	仲谷丈吾	井端浩二	澤史朗	住田清美	森要	中村健吉	徳島純次	前川文博	中嶋国則	洞口和彦	野村勝憲	高原邦子	葛谷寛徳	
指定管理者の指定について (飛騨市古川味処施設)	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	議長	○	可決 (賛成多数)

● 報告案件

議案名
損害賠償の額の決定について（4件）

問 災害時における電源確保について

答 現行では不十分であるが、計画的に発電機の配置を予定。



澤 史朗 議員

電源確保に電気自動車の導入を。

◆東総務部長

◆坂田危機管理監

答 ①停電対策用防災備蓄品として発電機を10台

問 台風21号により市内一部で停電が発生したが、①災害による停電時の対応は十分か。②緊急時の

問 小中学校の二期制について

答 来年度から古川中学校、神岡中学校、神岡小学校で二期制を導入。

問 小中学校の二期制制について、①導入への進捗状況は、②前期後期の区切りの休日は。

◆沖畑教育長

答 ①今年度学校ごとに

問 10年後の福祉サービスの質の担保と財源確保の見通しについて

答 法定サービスとしての運営に移行しながら財政負担を抑制し安定的な経営が可能と考える。

問 福祉施設整備は必要だが、人口減の中それを支える人材と財源は十分に考えられているか。

答 社会保障関係費は平成19～29年度の10年間で約3億7千万円増加したが、地方交付税等の措置で一般財源負担は逆に

◆都竹市長

を公民館や消防団器具庫に配置。32年度は神岡町にも配置予定31年度には避難所備蓄品の中に発電機1台を入れる予定だが、まだ不十分と考える。②自動車メーカーと今年度内に電気自動車活用の協定締結を視野に協議を進めている。災害時の備えと環境対策の両面から公用車への電気自動車導入を前向きに検討したい。

ズに行くよう支援し、広報等で市民にも周知予定。②10月第2月曜日の体育の日を含め休みは3日間だが、子どもたちの気持ちの切り替えには十分時間をかけ、新たな気持ちで後期のスタートが切れるようにしたい。1億円減少。高齢者の増加と現役世代の減少は国全体で議論される問題で、市はこの議論を常に注視し、不利な改正・制度には意見を述べていく。人材確保の面は、現在取組み中の医療介護、福祉人材育成の中で確保を図る。

問 区長配布が多いことに対する改善について

答 配布物の削減が図れないか検討していく



仲谷 丈吾 議員

問 10月はじめに議会と市民の皆様との意見交換会を開催した際に、市民の方から区長配布の印刷物が多いという意見があった。総務部で確認したところ、これまでも何人かの区長から、区長配布が多いという話が寄せられていたとの事。区長配布は、組長が各家に配るが、多い地区では20軒以上の家に配達しているところもある。車で配っている方もいる。足の悪い方もいる。区長や組長になると負担が大き

いという事で、役員の入り手がいなくなる等、区入りしない方も増えるような事に発展していく可能性はある。高齢化してきて、人口も減っていく

中で、時代に合わせた改善が必要。区長も大変だが、仕分けに関わる職員も相当な時間を費やすことになる。働き手が不足していく中、今後改善していく必要がある。高山市では町内による全戸配布を一切行っていない。広報紙でさえ新聞折込しており、新聞未購読世帯には業者が直接届けている。支所地域はシルバー人材センターにより各家庭に配布される。①区長配布を減らす事はできないか。②公益的活動に対して新聞折込する場合補助できないか。

◆御手洗理事兼企画部長

答 ①区長配布の件数は、平成29年度の実績では、全戸配布が143件、回覧が290件となっている。内訳は、市役所関係の全戸配布84件、回覧126件、学校関係の全戸配布11件、回覧57件、警

察関係は回覧のみ35件、福祉団体、施設関係が全戸配布18件、回覧25件、行政以外の外部団体の全戸配布59件、回覧164件となっている。年間の区長配布の1回当たりの平均は、全戸配布が6件、回覧が12件、合計で18件となる。このようなことができていく自治体は今の時代には少なく、飛驒市の全国に冠たる自治システムが生きている証左であり、こうした日常的な活動がそれを支えていると言っても過言ではない反面、区長の皆様方には大変ご負担をおかけしていることも承知している。今後回覧をまとめるほかの手段がないか検討すると共に、市役所もそうだが、市役所以外の外部団体の配布物を減らしていくことも検討する。

②イベントの種類や活動の内容は様々であり、一律に新聞折込に対して補助するということは今のところ考えていない。

問 飛騨市の農泊事業の取り組みと今後の見通しについて？

答 農泊は民間事業者が実践し、市はゲストハウス等の整備を支援していく。



野村 勝憲 議員

問 10月に昭和40年21世帯あった旧宮川村小谷の集落と似た新城市の山里・阿寺地区を視察。豊川からターンし農泊を営むご夫婦の話やNPO法人理事長体験談等大変参考になり、早

速11月有志議員5人で農水・地方創生大臣等歴任の石破茂先生と橋慶一郎復興副大臣に面談し、夏に古川町の古民家で農泊体験と地方創生をテーマに地方議員との意見交換会を提案。市の農泊事業について質問。①農水省から飛騨地域里山資源活用協議会に農泊事業推進の約1300万円交付されたがその成果は。②

問 この際、商品力のあるうちに飛騨市古川味処施設を民間に売却した方がいいのでは？

答 積極的な民間事業者が出てくれば、売却を含めて有効活用方法を検討する。

問 書式等複雑で初めての人には不利の声が多い中、3事業者が応募し、その選定時に味処古川協会の運営方法について森葉市議自らが説明した飛騨市古川味処施設を問う。

手に増改築された事をどう思うか。③味処古川と同様に他の施設でも市議の関与はないか。

◆都竹市長

◆泉原商工観光部長

答 ①平成25年度末口頭

で衛生面の改善と観光客の休憩用に増改築の申し出があり、黙認していた。②きちんと申請を出して

事業推進の為外部委託の会社名と費用・業務内容は。③市の農泊は稲越、種蔵菅沼、山之村等の山間地からはじめたら？

◆御手洗理事兼企画部長

答 ①昨年度から動画制作に入り、現在秋の飛騨市の動画撮影を終り編集作業を実施中。②三菱UFJ系コンサルタント会社に委託し市内実態調査やヒアリングを行い手引書を作成する。費用は280万円。③市内全域におけるゲストハウス整備を促進し、農泊につなげたい。



庇が撤去され、5年前と同じ味処古川

もらい許可すべきもの。③ないと思う。

問 平成31年度予算編成と市長の政策について

答 「身近な暮らしの充実」や保育園から高校までの「課題解決能力を育む教育」などに取り組む。



中嶋 国則 議員

問 市長就任から2年9ヶ月経過したが、中々に見えて市内の経済が活性化していない。31年度の予算編成と市長の政策について次の4点を伺う。①予算編成の基本方

針は。②最も力を入れる市長の政策は。③31年度の普通地方交付税の見込みは。④歳入・歳出の見込みは。

◆都竹市長

◆東総務部長

答 ①市民が求める課題において、行政にしか出来ない事、行政の支援がなければ成り立たないことに重点的に取組む。民

問 中期財政見通しについて

答 公債費の交付税措置分を除いた実質負担額は、32年度に上昇するが38年度にかけて減少。

問 平成28年11月に平成31年度までの中期財政フ

レーム（4年間）が公表された。現在から、4～5年間先の財政見通しはどうか。

問 飛騨市スポーツ施設整備計画について

答 32年度以降、森林公園にグラウンドゴルフ9コースが設定できる屋内運動場を整備する。

問 飛騨市スポーツ施設整備計画について、次の5点について伺う。①スポーツ施設の現状と課題は。②スポーツ施設整備計画の策定方針と策定時期は。③森林公園に屋内

運動の建設を。④森林公園のトイレの洋式化を。⑤すばーふる内にトレーニング機器配備計画は。

◆清水教育委員会事務局長

答 ①施設が43あり老朽化しており維持費が膨ら

間が独自に取組んでいること、市民の自助努力によって実現できることはサポートに徹する。②「身近な暮らしの充実」に目を向けていく。スポーツの分野では、ニーズの高い施設の改修・整備に本格的に着手する。③税制改正の影響が予想されるため、現段階では予測困難。④「入るを量りて、出ざるを制す」を基本とする。災害復旧工事費の増高を見込む。

◆東総務部長

答 33年以降公債費の減少が見込まれることから、その財源を活用していく。

む状況。②計画案を基に市民意見を募集中。年度内に計画を決定する。③管理棟・宿泊棟・テニスコートを取壊し、跡地にグラウンドゴルフ9コースとれる施設を計画予定。④トイレの洋式化は新年度予算協議の中で検討。⑤整備計画検討委員会にて調査した結果見送る。

問 夏までに小中学校のエアコン設置はできるか？

答 エアコン本体の調達や作業員の確保が難しい。



前川 文博 議員

問 ①補正予算で817

◆清水教育委員会事務局長

問 多機能型障がい支援施設。運営費はどうなる？

答 定員利用で年間3千7百万円の給付金と想定。

問 山田小学校跡地に建設予定の多機能型障がい支援施設について伺う。

◆柚原市民福祉部長

答 ①運営が安定するまで指定管理料で支援。支援期間は一期目の3年間を目安とする。②全事業を定員で年間利用した場合、約3千7百万円の給付額。月平均で約3百万円が施設の運営費収入。利用料は市独自の減免制するの？

問 神岡小学校通学路の安全管理は（倒木の処理）？

答 倒木は所有者と協議し、市で除去する。

問 ①小学生が毎日通る通学路。見た目にも危険を感じる。保護者が安心して通学させることができて

◆青木基盤整備部長

答 ①国の補助は全額4千3百万円採択された。

工事費は総額2億2千万円。内、補助は8千8百万円。1億3千万円は市の負担。今年度の補正予算で上程する。

度があり、生活介護と就労継続支援B型は0%、短期入所は5%と自己負担額の引き下げをしている。

③利用定員の7〜8割程度の利用が毎日あれば、黒字の運営。現状は5〜6割の利用。④施設の特性や地域の実情や利用者との関係性を考慮し、市内事業者を対象とした公募。⑤旧神岡東小学校は、市有物品の管理倉庫として利用。旧山田保育園は選挙の投票所や健診会場として市が直接管理。

答 ①平成31年度、国の防災安全交付金を活用し用地取得や法面の安全対策工事に入る予定。なお整備区間内の倒木は所有者との協議によるが、市による除去を考えている。

問 和光園リノベーション

答 親や家族の願いに応えるグループホームとしたい。



住田 清美 議員

問 和光園新築後の現建物、リノベーションし、障がい者グループホームなどに利用されるが、利用予定者の声は聴いたのか。また、整備については新築も想定されるが、なぜリノベーションに至ったのか。①障がい者

◆都竹市長

◆柚原市民福祉部長

答 ①障がいのある方のご家族から常々要望をいただき、また「飛騨市生涯安心計画」策定時にもアンケートを実施し必要

性を認識している。②1点目は新和光園や憩いの家が周辺にあることで、運営者が効率的に対応できること。2点目はコスト面。新築には土地購入造成費、取壊し費、補助金返還に3〜4億円かかる。それらを避けるためにもリノベーションでの整備を選択した。③詳細については今後検討する。

問 学校運営について

答 教職員の減については、校務支援システムを検討する。

問 少子化の影響で学級編成や教職員配置に問題は生じないのか。また、宮川小学校では次年度教頭が配置されない予定と聞か、誰がカバーするのか、地域と連携した教育は継続できるのか。①少子化に伴う学校運営

◆沖畑教育長

答 ①児童生徒数は5年前と比べ約300人減少し、学級数、教職員数も減っている。職員研修の見直しなどで対処したい。

②宮川小学校は児童数の減により次年度は教頭無配置校となる。教頭の業務は校長が行い、職員の出張等も学校に負担にならないよう配慮する。③本年度から夏季休業中に3日間設け、教職員の8割が閉庁日と年休を併用し複数日の連休を取得しリフレッシュできた。その間緊急対応窓口として市教委が対応したが、現人員からして、閉庁日を増やすことは難しい。

一般質問

問 ICT基盤整備について

答 効果を見極めながら、段階的に進めていく。



徳島 純次 議員

問 ①第2期教育振興計画のICT環境指標の早期達成は。②第3期教育振興基本計画では第2期計画より整備指標が追加され、整備には多大な費用を要するが第3期計画の指標を平成32年までに達成できるか③プログラ

ミング教育の狙いは何か。教師の負担とならないか。④ICT教育の実施により教職員の負担増になるが、どのように働き方改革を行うのか。

◆沖畑教育長

答 ①十分に達成できていない。第3期で整備指標が変更されたので、これを踏まえ段階的に整備をする。②上級学年から順に整備する。32年までの達成は非常にハードルが高いが、地方交付税措置のある有利な市債を充当し段階的に進める。③プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けること。④ICT機器の導入等により教職員の時間外勤務の短縮を図れる。

問 外国人実習生の支援について

答 現場のニーズにあわせて柔軟に対応する。

問 飛騨市も少子高齢化で生産年齢人口が減少し、外国人労働者への依存度も大きくなります。そんな中、議員4人でベトナムのVINAMEX、JSCとAMASCO、JSC関連の日本語講習センターを視察した。外国人技能実習生は日本語能力が不十分

である。技能実習生への支援について2点伺う。①通訳の支援を1回の通訳費用の5割、回数4回、金額累積24万円までと自由度を持たせられないか。②外国人技能実習生交流事業を年4回開催、飛騨市の各種届出、地域ルール、避難の仕方、受診の仕

問 労働力不足対策について

答 250名の慢性的な人材不足。外国人雇用29名、今後も支援を拡充。



洞口 和彦 議員

問 飛騨市でも労働力不足は深刻である。外国人雇用を含めて対策を伺う。①飛騨市の現状は。②外国人雇用は。③外国人雇用支援事業は。④技能実習生の能力を受け入れる体制は。

◆柚原市民福祉部長
答 ①250人前後の慢性的な人材不足。②外国人雇用は7社29名。来年度4社が受け入れを検討。③通訳支援10回、日本語・文化教室3回、面接旅費補助1回、社宅化支援2社利用。交流事業31名参加。今後も検証、改善を図り、柔軟に取り組む。介護分野では特養で昨年取り組まれた

が不成立。今後も支援を

問 流葉観光の将来整備計画について

答 Mプラザ・スキー場、財源確保に努め、改修を進める。

問 若者のスキー離れやや年末年始の雪不足により来場者の減少、建物やリフトの老朽化が進むなか将来に向けての整備計画を伺う。

◆泉原商工観光部長
交流広場は。④カントリーウオーク、ドローン合宿対策は。
◆泉原商工観光部長
◆清水教育委員会事務局長
答 ①Mプラザは天井部分を低くして安全・耐久を図り、壁や鉄骨、フロアの改修で約8000万円、自然休養

拡充。④日本語・文化教室や実習生交流会等支援を進め現場ニーズに合わせた受け入れ環境の整備を図る。



ベトナム日本語学習センターにて

村センター、セミナーハウスは取り壊しで約4800万円必要。財源に苦慮しているが何らかの見通しが立てられるようにしたい。②安全性を考慮して財源確保と適切な時期を検討しながら改修を進める。③用地交渉が困難と巨額の費用が掛かるため、数河緑地広場と2面整備は困難。④誘致活動を地道に継続。コンベンション補助金、入浴割引券利用促進に努める。

問 市民の誇りを確認できるイベントの推進について、市の「思い」を問う。

答 飛騨市には市民が誇りを抱ける地域資源が多分野にわたり多く有り、それぞれについて幅広く取り上げ、市民の誇りを認識できる部分を広めたい。



中村 健吉 議員

問 ①かつてのテレビドラマ・映画を利用するイベントの意義は。②「飛騨の系引き工女」にかかるとるミニ企画展の内容は。③市民が誇りを抱けるイベント推進についての「思い」は。

答 ①かつてのテレビドラマ・映画を利用するイベントの意義は。②「飛騨の系引き工女」にかかるとるミニ企画展の内容は。③市民が誇りを抱けるイベント推進についての「思い」は。

問 道の駅「アルプ飛騨古川」に対する市としての働きかけの限界について。

答 ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

問 ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

答 ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

問 道の駅「アルプ飛騨古川」に対する市としての働きかけの限界について。

答 ①平成29年12月の再オープンからこれまで二回（30年2月・6月）話し合いを持った。今回は年明けを予定。市側からは運営状況や今後の方針等具体的提案をした。②対する業者側の回答は「新メニュー開発は厨房スタッフの育成後二給仕システムはコスト面から

る。②明治以後、製糸産業に携わることで、日本経済の一翼を支えた飛騨地方の女性達の偉業を詳細に史実調査し、歴史的事実・評価・エピソードなどを交えて多くの手段を駆使して広く紹介したい。いずれは町内に常設の資料館を設置したいと考えている。③飛騨市を誇りに思うことが新たなまちづくり活動・行動へと繋がる。市内の多くの意味深い資源を取り上げ、出来るだけ多くの市民の意識にヒットする部分を示したい。

現状維持「二階広間の利用促進PRを図る」イベント実施案はある」であった。③事業者に対する要望は商工観光部が最も強く要望出来る。④振興補助金は制度として継続するので、対象事業があれば今後も継続支援する。⑤民間事業者の所有なので市の関与に限界がある。

連合審査会Q&A

連合審査会とは、審査のため、総務・産業の各常任委員会が合同で審査するものです。指定管理者の指定に関する審査内容の一部をQ&Aにて掲載します。

Q 施設により審査員の人数の違いがあるのは。

A 審査員の人数等はそれぞれの部署で決定する。

Q 味処飛騨古川については、観光施設なので、観光客目線で評価・選定していただくため、市外の観光事業者等を審査委員として選定した。

A 多ければ多いほどよいと思われるが、上限・下限の人数を決め、選定していきたい。市内の実情を理解した人が入るべきかどうかは、なかなか難しい。その都度判断していきたい。

Q 指定管理施設は公の施設である。地方自治法244条に定められた住民の福祉のための施設である。審査員の人数は全施設同じ人数でやるべきでないか。

A 指定管理者の選定委員会の審査員の人数の定めはない。

Q 所管ごとに審査員を選定するのは。

A 所管部署単位である。それぞれの施設が一番詳しい人を審査員として選

定しているのか。

A 市内の事業者の数は少ないため近隣のところまで含めて手を挙げるということが出てきたことを考えると、競争性が働いてきたと考える。

Q まつり会館は改修のため非公募で1年限定である。今後は非公募なのか、全国公募なのか。

A まつり会館は博物館的な施設として直営にするのか、指定管理施設にするのか検討したい。

Q 指定管理は直営にしたほうがよい施設もある。見直しが必要でないか。

A 運営委員会において見直しも含めた議論を行っている。指定管理料の見直しをする際に、直営にすると安くなるから直営にする。あるいは指定管理料が多少高くてもサービスが上がることから指定管理施設とするものもある。



委員会Q&A

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します。

総務常任委員会

◆議案第128号

飛騨市保育所条例の一部を改正する条例について
増島保育園及びさくら保育園を民営化するため廃止するもの。

Q 完全民営化について、保護者へ十分な説明と理解は得られたのか。

A H 29・10～11月に意向調査したところ、賛成またはどちらでもよいという意見が9割であった。H 30・6に市民向けの説明会で、反対という意見はなかった。

Q それぞれの保育園の特色は。

A 増島保育園は、和太鼓を利用した活動が盛ん。さくら保育園は、特別養護老人ホームとの交流やダンスが盛んである。

Q 民営化することにより、期待されるサービスは何か。

A 各園で特色のある保育や保護者のニーズに素早く対応できる。

Q 公立にこだわらず民営化すべきでないか。

A 未満児保育が急増した時に公立で吸収した事例があり、今後に対応できるように残していきたい。

◆議案第131号

飛騨市障害者自立支援施設条例を廃止する条例について

飛騨市障害者自立支援施設憩いの家を民営化するため廃止するもの。

Q 民営化することにより、期待されるサービスは何か。

A 自主事業で就労移行支援事業を10月から開始している。受け入れの人数、利用者のニーズに合わせたサービスが提供できる。

産業常任委員会

◆議案第137、138号

財産の取得の変更について財産の処分の変更について（繁殖牛舎）
6月議会議決について、精算見込額の変更による金額の変更を行うもの。

Q 変更の理由について

A 当初予定の経費から工事請負による変更により減額となるもの。

Q これで最終決定か。
A 建設利息の変更を3月議会に上程する予定。

◆議案第141号

飛騨市地域産業振興施設条例の一部を改正する条例について

香愛ローズガーデンを直営にするため入場料、使用料を無料とし、神岡町農産物直売施設を産業振興施設に加えるもの。

Q 香愛ローズガーデンを直営化する理由は。

A 指定管理施設として継続していたが採算が難しいため。

Q 今後、施設管理はどうするのか。
A 市の直営とする。

◆議案第151号

飛騨市都市公園条例の一部を改正する条例について
気多公園において民有地の寄附を受けたことによる面積の変更を行うもの。

Q 7月豪雨で被災したようだが、今後災害が起こりうる場所はもうないか。

A のり面に湧水が多く確実にないとは言えない。
現時点で公園園路の機能部分を直せば良いと判断している。

予算特別委員会

12月補正予算審議

総務部

Q 緊急防災減災事業債とは。起債である。具体的には防災対策の電源の整備、消防団の車両の更新など。

A 防災や減災に充当できる。
Q 人材不足の中で、市の採用見込みや転職の状況は。

A 次年度は辞退がなく大卒で5名採用予定。

消防本部

Q 公務災害の発生内容は。活動中に転倒され、足の中指

を剥離骨折されたもの。現在リハビリ中である。

企画部

Q ひだ宇宙科学館カミオカラボ、プレイベントの実施の有無について。

A プレイベントの予定はないが、マスコミ関係の内覧会を予定している。

Q ミズベリングにおける事業者の公募の予定について。

A 市が行う公募は、営業等のマネジメントを行う事業者を公募する。一般の方はマネジメント事業者と契約する予定である。

Q NHK「さくら」のパネル展の開催 3月中旬から5ヶ月だが、入込客数の予定は。

A 目標数値は設定していない。
Q 撮影当時の関係者を呼ぶイベントはあるのか。

A 脚本家の田淵久美子さんが「さくら」に強い思い入れがある。2月開催予定の合併15周年式典の際に講演をしていただく予定である。

Q ふるさと納税について、ネットを通じた納税時、サイト運営事業者にくら支払っているのか。

A 市は6社のポータルサイトを
トを使用。クレジットカード
決済が大部分である。ポータル
サイト事業者には10〜12
パーセントを支払う。

市民福祉部

Q 複合児童福祉施設の整備
の財源で、社会福祉協議会か
ら8600万円の負担金があ
るが、社協はどういった財源か
A 社協がもとと合併前か
ら積み立てしていたもの。事
務所建設を予定していたもの
を充当する。

Q 入園入学準備金購入支援
金の利用率は。
A 利用者は保育園78%、小
学校80%、中学校95%、高校
87%である。

Q 児童保育費における他市
町村保育負担金の内容は。
A 他市に預ける理由は、保
護者が高山市に就労している
ため。預けられる児童は未満
児がほとんどである。

環境水道部

Q 水道法が改正され、運営
が民営化も可能になったが、
市の方針はどうか。
A 飛騨市の場合、民間事業
者が参入して経営が成り立ち
にくいいため、民間事業者の参

入はないと思われる。
Q 給水量の減少、水道管な
ど施設の老朽化対応による水
道料金は。
A 料金の値上げは避けられ
ないものと判断している。

農林部

Q 農業用ビニルハウスの災
害について施設被害状況は。
A 市内に1875棟あるハ
ウスのうち、古川町194棟、
神岡町88棟、河合・宮川町32
棟合計324棟で被害。ハウ
ス被害金額1611万円であ
る。

Q ハウスの中の農作物の被
害額は。
A 把握していない。

商工観光部

Q 屋台蔵巡り10力所のスタ
ンプラリーでは、何か特典を
与えないのか。
A 今後検討する。

教育委員会

Q 糸引き工女顕彰事業の外
部委託方式から直接雇用方式
にした理由は。
A 史実の掘り起こしに、資
料が少なく時間がかかること
が判明したため。

議案第150号
飛騨市指定管理者
の指定について
(飛騨市古川味処施設)

反対討論

野村 勝 憲

私は、議案第150号飛騨
市指定管理者の指定について
反対の立場で討論する。

①味処古川を協会名に使用
し、地元食材が15%で全国に
あるフランチャイズやどかり
弁当を飛騨のお弁当「味処古
川」名で販売。味処古川のネー
ミングを市の了解を得ないで
使用したら大きな問題であ
る。また岡田屋さんの五平餅
と同じ仕入れ先から全く同じ
五平餅の生地を仕入れて販売。
その影響で岡田屋さんは五平
餅の売り上げは減ってきてい
ると耳にしていた。これこそ
民業圧迫で、古川町の仕出し
弁当屋をはじめ多くの個人経
営のお店では苦勞されている
のに、市は施設管理者に民間
の発想で自主事業をどんどん
やってもらいたいとの答弁で
多くの市民は愕然としてい

討 論

る。②人員配置計画では20名
の体制、うちフランチャイズの
弁当部門は兼務を入れて14名
と半分以上を占める。本来施
設の運用目的である観光客向
けの食事の提供とお土産品の
販売体制で営業時間は午前9
時から午後5時までの8時間
ではなく午前5時から午後6
時までの13時間の人員体制で
比較するのは公平性に欠ける。
③勤務時間について、施設長は
1週80時間、1日当たり11時
間30分、店長は週60時間、1日
当たり8時間30分と長時間勞
働である。④収支計画につい
て、収入5600万円のうち自
主事業のフランチャイズの弁
当部門が約1800万円。自
主事業を除く事業内容で検討
をしなかったことが問題であ
る。⑤審査結果については別
の施設では選定委員を入れ替
え再度やり直したとのことだ
すが、同様にやり直すべきであ
ると考える。

賛成討論

前川 文博

味処古川協会、飛騨の味お
もてなし研究協会、有限会社
さわの3事業者が応募され、

選考委員は、委員長は副市
長、副委員長は理事兼企画部
長、委員に飛騨・世界生活文
化センター統括、飛騨県事務
所副所長、合掌造り民家園業
務推進担当、濃飛乗合自動車
(株)企画販売課長、奥飛観光
開発(株)代表取締役であり、
審査にあたった方は申請者か
らプレゼンを受け、内容等に
ついて確認され、それぞれの
私見にたち採点をしたもので
意図的な審査をされたとは考
えられない。選定員の得点を
みると、3申請団体で、最高
点を数えた員数を数えると、味
処古川協会が4人、Bの事業
者は1人、Cの事業者は2人
と半数以上の選定員が最高
点をつけている。審査項目ご
とに3事業者の平均点を比べ
ても、施設の平等利用、施設
の効用発揮、管理能力を有する
こと、管理経費の削減、地域産
業活性化拠点機能の5項目全
てで、味処古川協会が他の2事
業者を上回っており、選定委
員会の審査は適正に行われて
いると考えられる。よって指
定管理者の指定について、飛騨
市古川味処施設に賛成する。

市民の皆様との意見交換会

今年度の「市民と議員の意見交換会」は、7月の豪雨と9月の台風の影響で延期されましたが、10月3日から9日までの期間で市内4町それぞれの庁舎や公民館で全議員と市民参加者のべ38人を得て開催されました。

その折に頂きました皆様からのご意見や提案を紹介しします。

10月3日(火) 河合会場

- 飛騨市の財政状況について心配しているが大丈夫なのか。
- 災害発生時における備蓄品の保管場所について。また、その際の避難場所について、区内で分かれている場合の係の対応はどうすれば良いのか。
- 高齢化で空き家が増えている。ゲストハウス等の活用を含め、今後の対応を知りたい。
- Aコープを含め、町内の店舗の閉鎖が増えている。買い物難民に対する対応はどの

うなるのか。
河合ローズガーデンの現状と今後の展望について。

10月4日(水) 古川会場

- 広報配布物の多さとその配布状況について。有効な情報伝達手段の改善の必要性について。
- 飛騨市の農業問題について。新しい農産物としてリンコンを考えてはどうか。
- 飛騨市の財政展望について。災害時における市民の意識高揚啓蒙活動の必要性について。
- 高齢化・人口減少による飛騨市の将来に対する不安。
- 財政面での不安と、骨太政策による現行事業の見直し

- 観光客誘致増加の具体的な方策の提示を。
- 市議会議員定数の見直しについて。
- クリーンセンター火災について、その後の状況と負担額について。
- 市内商工業者の厳しい状況を理解し、議員は商工業・中小企業の振興条例を学習し、振興方法について

真剣に立ち向かうべきである。

- 美しい町並みを維持するための保持するため、商工会を通じ、町内にトレイなどの回収ボックスを設置できないか。
- 語る会の常設意義と、今後の活用について。
- 市会議員の役割と市政盛り上げの責任についての意見。



古川会場

10月5日(木) 神岡会場

- 流葉スキー場の被災状況と、今後の復旧について。
- 災害時における問題について。(高齢者の避難・地域の住民の意識格差・避難場所での情報把握手段・避難場所での役員の活動等)
- 流葉温泉と割石温泉の運営について。(営業時間・老朽化・営業状況等)

● 飛騨市の観光事業投資と市民生活の関わりについて。

- 人手不足・人口問題について現状の認識を正しく把握し、今後の具体的な改善数値目標を示すべきではないか。
- 市政の目指す目標を具体的に示してほしい。
- 飛騨市の文化事業についてのサポートについて。
- 古川町杉崎地内の交差点危険箇所の改善希望。
- カミオカラボについて。
- 神岡鉄道河川占用許可費用の必要性について。なぜ必要なのか。
- 国民健康保険料の値上がりについて。

10月9日(火) 宮川会場

- 町内の林業振興についての不安と今後の展望について。
- 豪雨災害による鉄道不通と開通後の記念行事について希望。
- 豪雨災害被災地への今後の対応はどうなっているか。
- 飛騨市の将来に向けての財政課題について。不安に思っているが、どうなるのか。

か。

- 宮川の氾濫被害の対応は県か国か？
- ふるさと納税について。(納税額と使途)
- 少子化で来年度小学校の生徒が少なくなる。将来が心配だが、どうなるのか。
- 語る会の意義と今後の継続希望。



宮川会場

今回語る会で市民の皆様からの貴重なご意見ご提案をいただき総務・産業常任委員会それぞれに真摯に検討させていただきます。求められる市政の実現に向け、ご意見、ご提案を生かして参りたいと思っております。ありがとうございました。今後も「語る会」を継続してまいります。

委員会管外視察報告

総務・産業の各常任委員会で実施された管外視察について、それぞれの委員長から報告します。

総務常任委員会

①一宮市立中央図書館

JRと名鉄の尾張一宮と一体化した尾張一宮駅前ビル（iビル）の中にある図書館。図書館は、iビルの5階〜7階エリアで、5階を児童と親子対象、6・7階を一般対象とし、出入口を分けている。駅ビルという立地で、サラリーマンの通過点でもあり7階にはビジネス支援コーナーがある。ビル全体は指定管理者によって管理運営されているが、図書館は市の直営で市職員が9名と委託業者60名の体制で運営。利用者は一日平均3,000人を開館当初から維持しており、立地条件や57・3万冊という蔵書の豊富さ、インターネットブースや学習室の充実、AVコーナーや飲食可能なスペース等がその要因と考えられる。他に5

つの図書館と移動図書館があり、移動図書館は市内39カ所を月1回のペースで巡回し、高齢者や障がい者、子育て中の母親やその子ども、市内13の学校を巡回。図書のリクエストも受付でいて、人気がある。



児童フロアの様子

②奥三河田舎くらし隊

（新城市NPO法人）

農山村の古民家を農泊施設として活用する活動に取り組んでいるNPO法人。若い世代が都会に移住し、過疎が進んでいる地域の古民家を農泊施設として再生し、都会から移り住んだ人たちに民家を活用してもらう目的。農泊という点、農家に宿泊し農業体験をすることが前提だと思っていたが、経営者は農業者である必要はなく、星空観察やほたる観賞、畦道散歩など何かしら自然体験プログラム



古民家の宿泊施設

③障がい者グループホーム

（社会福祉法人むそう）

児童発達支援サービス、日中活動系サービス、グループホーム／1人暮らし支援、余暇・社会参加支援／地域生活支援サービスなど障がい者に対する支援を行っている法

ラムを体験する機会や場所を提供しさえすればこの制度を利用できることを確認した。農泊の収入は、宿泊料金、食事代や体験指導となる。田舎暮らしを体験したい人の為に、自分たちの生活の場を提供するものである。名古屋や豊橋の大学と協力し、留学生をインバウンドのモニターとして宿泊体験してもらい、今後の展開を検討している。豊川・豊橋地区や浜松から車で約1時間のところであり、週末をのんびりと過ごしたい人たちも

人。グループホームは障がいのある方が共同で生活するための場所で、世話人やヘルパーが生活に必要な支援をしてくれる。親なきあとも生まれ育った地域で自分らしく暮らすために工夫されている。女性8人が生活する施設で、1階、2階とも206㎡の広さの2階建て民家を購入して改装。1階（4人）、2階（4人）とも個室で、食堂・トイレ・風呂は各階に在り共有。1階には重度の障がい者にも対応するためリフト付き風呂を設置。音に敏感な方への対応は二重窓。よく転倒、壁にぶつかる方には床・壁にクッション材を使用するなど障害の特性に応じて対応されており、改装費に約4千万円。働く場所の提供や所得保障もしっかり考えられ、自立に向けての生活の場となっていた。

④羽島市立桑原学園

（ICT教育）

小中一貫教育の義務教育学校。小学校から教科担任制である。1学年約20人であり児童生徒一人ひとりに目が行き

届きやすい環境である。羽島市では市内小中学校に学年単位で使用できる台数のタブレットが準備されている。桑原学園では、岐阜大学との連携により小学生用に50台のタブレットが貸与され、子供たちが何時でも使用できる環境にある。また、教育関係の出版社の協力で、漢字と計算のドリルなどが提供され、漢字と計算の基礎学習を展開している。岐阜大学が学習データを分析し教材や教諭の指導法の改善につながる等「産官学」による学力向上協創プロジェクトを立ち上げて、ICTを活用するなどして取り組んでいる。モデル校としての役割も担っている。児童生徒も自然体でタブレット端末、大型モニターをうまく活用して授



授業の様子

（総務常任委員長 前川 文博）

産業常任委員会

① 岡谷市蚕糸博物館

信州岡谷は、かつて世界の生糸生産地として栄え、蚕糸に関わる産業遺産が数多くある。飛騨糸引き工女は近代製糸産業に大きく貢献するとともに、現金収入を得るため、また家族のためにひたむきに働いていた。

飛騨市では、現在専門調査員を雇用し、工女たちの史実を調査研究している。映画による女工哀史の負のイメージばかりでなく、明治・大正・昭和と時代の趨勢とともに工女の労働環境や生活環境(教育、余暇)が改善されてきたことも検証し後世に忠実に伝えることが大切である。

市は、この研究成果を活かして、古川の町中に歴史観光スポットを設置して活用できないかと現在検討している。このことから、博物館を視察してその可能性、方向性を確かめたいと考えた。

岡谷市蚕糸博物館は、市の施設で、絹文化の起源から、日本の製糸業の歩みなど、各種資料がとてもしっかりやすく展

示されていた。

また、江戸時代から昭和初期の機械が展示され、蚕糸全盛期から昭和30年まで使われていた機械が今でも動く様子を見ることができ、大変驚き、博物館に隣接する民間工場では、実際に作業している様子も見学させていただいた。

今後、岡谷市と連携、交流を深め、史実研究に関わる現地指導、資料の借用等お願いしながら、飛騨の工女の史実をしつかり研究することが大切であると感じた。

展示館の資料、展示方法等工夫することにより観光の一つの要素として可能性があることも感じた次第である。



糸引き作業の様子

② 長野県川上村の高原野菜

川上村は八ヶ岳山麓に位置

する年間平均気温7.5度、冬

はマイナス25度になる厳しい自然環境である。そのため戦前の生活はとても貧しく、現金収入は、養蚕と仔馬の生産のみで主に稼いだ村であった。戦後、過酷な自然条件を逆手にとり、駐留米軍の野菜の供給元として、レタスの夏出し野菜の生産にたどりつき、今日ではレタスの出荷量が全国一位と野菜大国へと変貌した。

農家の一戸平均耕作面積は2.5ヘクタール、平均年商は、2,500万円。耕作放棄地ゼロで、地域内就業率93.7%、村の人口5,000人の内、外国人実習生が1,000人である。村、農家、農協が同じ目標に向かい邁進してきたことが特徴で、飛騨市においても、儲かる仕組みづくりが大切であると感じた。

高冷地野菜、美味しい飛騨のお米、飛騨牛など飛騨の強みを活かした販売促進の取り組みを始め、担い手農家の育成、耕作放棄地の解消、外国人労働者の受け入れなど取り組んで行かなければならないと感じた。

③ 岐阜県バイオマスパワー

(発電施設)

岐阜県バイオマスエナジー東海 (チップ製造施設)

この発電施設は、瑞穂市にあり、県内発となる未利用木材を主燃料とする木質バイオマス発電プラントである。

発電所の発電出力は年間約12,000世帯の年間使用電力に相当する。

バイオマスとは、生物資源の量を表し、一般に再生可能な、生物由来の有機性資源のことを指している。製材端材や、建築解体材は、紙パルプ、木質ボード、家畜敷料、木質パレット等の製造原料として既に95%が利用されている。

この木質バイオマス発電所の燃料は、間伐等で伐採されながら利用されず森林内に放置されてきた小径木や根曲がり材、枝条等の未利用木材で、この発電所では、年間9万トンの未利用木材を燃料として利用している。

近年の台風や大雨といった豪雨の際、木材や枝条等が流出し、橋梁など排水施設を閉塞し土砂や洪水の氾濫を引き起こして、人家に対する被害

を増大させたり、道路や橋梁の損傷や流失を起こす事例が発生している。

未利用木材の活用で、木質バイオマス発電を行うことは、再生エネルギーの創出をはじめ、木材の資源循環の推進、減災、防災に貢献するものであると確信した。

集荷実績は、東濃地域、郡上・下呂・高山市で、現時点で約130箇所から供給しており、市内でも未利用木材を供給することは可能である。既存の作業工程に枝条の集材や出荷工程は組み込まれていないため、木材生産事業者を中心に林業関係者と協議して、未利用木材の供給が出来るように検討していきたい。



枝条の集材の様子

(産業常任委員長 森 要)

吉城高校の学校行事「現代フォーラム―情報化社会とSNS―」を視察した後、議員10名と、高校生パネリスト6名、高校職員を交えて座談会を行いました。

テーマは「高校生による未来への提言と議員の思い」でした。

議員の中には多くの同校卒業生があり、自らの高校時代を思い起こしながら、現状との比較の中でざっくばらんな対談交流が生まれました。

高校生が抱く、飛騨の現状についての意見と将来への提言を語ってもらい、それぞれについて議員も意見を述べ、意識する現状の問題点も上げながら、充実した意見交流が生まれました。高校生が抱く飛騨市の現状についての意見は、将来への指針遠いに関わる重要なものです。その重要性を認識しながら今後も交流会を持ち、飛騨の未来を開拓する意見交換を行う約束を結んで交流会を終えました。

議会の傍聴にお越しください

3月定例会の予定

2月25日 (月)	本会議 (開会、提案説明)
3月 6日 (水)	本会議 (一般質問)
7日 (木)	本会議 (一般質問)
8日 (金)	本会議 (一般質問)
11日 (月)	予算特別委員会 (補正予算)、本会議
13日 (水)	常任委員会 (総務・産業)
14日 (木)	予算特別委員会 (当初予算1日目)
15日 (金)	予算特別委員会 (当初予算2日目)
18日 (月)	予算特別委員会 (当初予算3日目)
20日 (水)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

※ 日程は変更される場合があります。

議会中継のご案内

議会では、市議会の会議を飛騨市ケーブルテレビで放映しています。生中継と当日夜の再放送をしています。再放送は午前の会議は午後7時から、午後の会議は午後9時30分からです。

またインターネット映像配信サービス「YouTube」でも公開しています。PCまたはスマホで「飛騨市公式チャンネル」で検索して下さい。

本日、飛騨市も合併15周年を迎えました。平成30年は、十年に一度や数十年に一度の豪雨災害や暑さの被害が全国で発生しました。倉敷市真備町の災害現場では、至る所で堤防が決壊しました。5mの高さまで浸水した住宅の2階が水没する状況でした。約8千人が居住している地域ですが、ほぼすべての方が避難生活を送りました。

住宅は公費での取壊しとなりますが、再建には補助金がわずかしかなかった。また、高齢者は住宅ローンが組めないなど、条件が厳しくなります。

そんな中、被災者である喫茶店のオーナーが店舗横の駐車場で営業を再開し、寒い時期はお得意さんのお宅を訪れ、コーヒーを入れて見えました。

平成の時代は大きな災害がありました。新元号の時代は、大きな災害もなく、平穏な生活ができることを期待します。

(前川 文博)